

第70回
広地区教育祭

は さ だ け か ぐ ら だ ん
羽佐竹神楽団公演

11月23日(祝・金)
15:00~16:30



演目① 葛城山 かつらぎざん

大和の国葛城山に住みつき、天下をかく乱しようと狙っている土蜘蛛の精魂が胡蝶という美しい侍女に身を変え、典薬頭からの使いと偽って、病気の源頼光に飲ませる薬に毒を盛って差し出す。頼光はこれを服して倒れてしまう。

遂に念願を果たしたとばかりに切つけるが、逆に頼光により伝家の宝刀「膝丸」で、一太刀浴びせられ、正体も見破られ、葛城山に逃走する。

頼光はわが身を救った宝刀膝丸を「蜘蛛切丸」と改め、四天王にこの刀を授け、土蜘蛛征伐を命じる。卜部季武と坂田金時は土蜘蛛のくり出す妖術と応戦しながら見事に精魂を退治する。

演目② 八岐大蛇 やまたのおろち

高天原を追われた素戔嗚尊は出雲の国簸の川上流で、今年もまた八岐大蛇に襲われると嘆き悲しむ足名椎、手名椎の老長者夫婦と娘の奇稲田姫に出合った。その大蛇は頭が八つ尾が八本、長さは八つの谷をまたぐという。

そこで、尊は八塩折りの樽酒を用意させて大蛇を待った。やがて現れた大蛇に酒を吞ませ酔って眠ったところを襲いかかり激しい闘いののちついに退治する。そのとき尾から出た一振の名剣に天村雲剣と名付け高天原の天照大神へ献上した。

◆羽佐竹神楽団プロフィール

羽佐竹神楽団は、江戸期より先人、先輩たちによって舞い継がれ、昭和47年地域全戸(130戸)を会員として、羽佐竹神楽後援会を創立し、昭和54年、広島県無形民俗文化財の指定を受け、平成3年には、羽佐竹子ども神楽団を結成し、子ども達に地域の伝統文化の学習と神楽後継者の育成に努めております。また、広島市内の神楽好きの子ども達との神楽を通しての交流や指導を行っています。

歴史と伝統の有る羽佐竹神楽の灯を消すまいと、日々研鑽を続けています。

広まちづくりセンター
3階ホール
入場券(1枚)500円

《入場券発売日》

10月19日(金)

《発売場所》

広市民センター

広まちづくりセンター

《主催》広まちづくり推進協議会

《お問合せ》広市民センター

〒737-0112 呉市広古新開2-1-3

TEL 73-7191

